

イーレックス 2023-2025 年度 中期経営計画を踏まえた

当面の経営方針に関する補足説明資料

2023 年 5 月 31 日

エグゼクティブ・サマリー（※本編は 3 ページ目以降）

事業環境は、脱炭素化、地政学リスク等により、不確実、不安定さを増しており、社会が大きく変わる可能性があります。このような先行き不透明な事業環境を踏まえて、戦略的に取り組む必要があります。今後の脱炭素社会の到来を見据え、これまで以上のベンチャー精神をもって、「再生可能エネルギーをコアに電力新時代の先駆者になる」というビジョンのもと、日本国内において大型バイオマス発電所計画を着実に進めるとともに、ベトナムやカンボジアを始めとする東南アジア諸国を中心に、脱炭素に向けた事業展開を確実に実行して参ります。

今年度から 2 年間は新たな事業基盤の構築への移行期であり、不透明な事業期間でありながら「強守」と「展開」により、競争優位性の確立に向けた重要な準備期間として、「成長」への取組を進めます。

I FY2023 - FY2024 の期間は海外成長戦略の「重要な準備期間」

中期経営計画最終 2025 年度以降の成長の為、今年度から 2 年間は新たな事業基盤の構築への移行期

ベトナム事業：第 8 次国家電力基本計画（PDP8）が 5 月 15 日正式承認、大型プロジェクト（2030 年まで 14 基：今年度 2 基を着工予定）開始

1. 大型投資案件の準備
2. 工業用地の取得・燃料の長期的確保に向け、集積・運搬体制構築・先行してペレット工場の新設
3. 人材の確保、ベトナム全国における組織体制、広報体制整備
4. バイオマス R&D センターの本格的準備

国内事業：自由化市場の競争環境が阻害されている中、以下の国内事業の推進

1. 燃料価格、卸電力市場価格の上昇・下落のリスク管理
2. カーボンニュートラルの推進、電力の安定供給の確保
3. 電力小売事業での収益性の確保、逆ザヤの解消、デマンドレスポンスへの注力
4. 燃料・発電一体の徹底的な効率化
5. 高効率大型バイオマスプロジェクト
6. 石炭価格の動向を踏まえたトランジション事業の推進等

II 脱炭素戦略に向けて

2030年売上高 5100億円/経常利益 250億円を目指す

ベトナムを中心とした東南アジア諸国でのバイオマス事業への取組等による、確実な成長

1. 分散型電源を中心とした農業分野のバイオマスへのエネルギー転換、
2. 自給率の向上、雇用の増大等
3. アジア圏での社会貢献、
4. グローバルな排出権取引
5. 競争力のある燃料を中心としたクリーンエネルギーの創出に向けた取組

III 変化に強い企業体質の実現

エネルギー価格の変動に対するリスク管理を着実に行いつつ、以下の4事業において、脱炭素への取組を、成長を牽引する事業機会と捉え、脱炭素社会の実現へ貢献

1. バイオマス燃料事業
2. ベトナムを始めとする東南アジアにおけるバイオマス発電事業
3. 石炭火力をバイオマスに転換するトランジション事業
4. グローバルな排出権取引事業

当社グループが保有する技術や知見等を活用し、再生可能エネルギーの拡大、CO2フリー電気の販売、バイオマス燃料の普及・拡大などを通じて、社会のエネルギー・トランジションに貢献し、企業価値の創出と最大化につなげてまいります。

イーレックスは、脱炭素事業者への展開・転換と、東南アジアにおけるバイオマス燃料事業の戦略より、脱炭素時代の新たなエネルギー企業として成長を加速させてまいります。

以上



イーレックス株式会社[9517]

2023-2025年度 中期経営計画を踏まえた

当面の経営方針に関する補足説明資料

弊社をとりまく事業環境は、脱炭素、地政学的リスク等により、不確実、不安定さを増しており、社会が大きく変わる可能性があります。このような先行き不透明な環境を踏まえて、戦略的に取り組む必要があります。

今後の脱炭素社会の到来を見据え、これまで以上のベンチャー精神をもって、「再生可能エネルギーをコアに電力新時代の先駆者になる」というビジョンのもと、日本国内において大型バイオマス発電所計画を着実に進めるとともに、ベトナムやカンボジアを始めとする東南アジア諸国を中心に、脱炭素に向けた事業展開を確実に実行して参ります。

当社グループは、脱炭素戦略として、2030年、2500万tのCO2削減を計画しております。今後、カーボンプライシングやグローバルな排出権取引など、環境価値のトレードが具体化するネットゼロ社会の実現を見据え、脱炭素のリーディングカンパニーへと転換を遂げ、環境価値の収益化による成長を目指します。

急速で大きな地殻変動

脱炭素

- ・気候変動、脱炭素
- ・生態系保護・環境規制

デジタル技術

- ・デジタルトランスフォーメーション
- ・分散型電源
- ・デマンドレスポンス

地政学的リスク

- ・東西の対立の激化
- ・エネルギー資源価格の高騰
- ・物流リスクやコストの上昇

今年度から2年間は新たな事業基盤の構築への移行期であり、不透明な事業期間でありながら「強守」と「展開」により、競争優位性の確立に向けた重要な準備期間として、今後の「成長」への取組を進めます。

ベトナム事業：第8次国家電力基本計画（PDP8）が5月15日正式承認、大型プロジェクト（2030年まで14基：今年度2基を着工予定）開始

1. 大型投資案件の準備
2. 工業用地の取得・燃料の長期的確保に向け、集積・運搬体制構築・先行してペレット工場の新設
3. 人材の確保、ベトナム全国における組織体制、広報体制整備
4. バイオマスR&Dセンターの本格的準備

国内事業：自由化市場の競争環境が阻害されている中、以下の国内事業の推進

1. 燃料価格、卸電力市場価格の上昇・下落のリスク管理
2. カーボンニュートラルの推進、電力の安定供給の確保
3. 電力小売事業での収益性の確保、逆ザヤの解消、デマンドレスポンスへの注力
4. 燃料・発電一体の徹底的な効率化、高効率大型バイオマスプロジェクト、石炭価格との動向を踏まえたトランジション事業の推進等

海外成長戦略への準備期間

FY2023 - FY2024



当社海外成長戦略の準備期間を経て、当社グループは、**2030年売上高5100億円/経常利益250億円**を目指してまいります。

ベトナムを中心とした東南アジア諸国での分散型電源を中心とした農業分野のバイオマスへのエネルギー転換、自給率の向上、雇用の増大等に寄与するべく、バイオマス事業に取り組んでまいります。加えてアジア圏での社会貢献、グローバルな排出権取引、競争力のある燃料を中心としたグリーンエネルギーの創出に向けた取組を行い、国内外ともに確実に成長をしてまいります。

成長戦略

成長を牽引する「バイオマス燃料事業」「ベトナムを始めとする東南アジアにおけるバイオマス発電事業」「石炭火力をバイオマスに転換するトランジション」「グローバルな排出権取引」の4分野において、脱炭素への取組を、成長を牽引する事業機会と捉え、この取組みを通して新たな価値を創造し、「脱炭素社会」の実現へ貢献してまいります。

このためには、グローバルで脱炭素へのコミットメントを加速させる事が重要と考えております。

当社グループが保有する技術や知見等を活用し、再生可能エネルギーの拡大、CO₂フリー電気の販売、バイオマス燃料の普及・拡大などを通じて、社会のエネルギー・トランジションに貢献し、企業価値の創出と最大化につなげてまいります。

イーレックスは、脱炭素事業者への展開・転換と、東南アジアにおけるバイオマス燃料事業の戦略より、脱炭素時代の新たなエネルギー企業として成長を加速させてまいります。



2024.3期以降の計画

前年対比 減収・減益

- JEPX価格水準やボラティリティー（変動制）が不透明な為、トレーディング収益を未計上
- 海外展開の為の先行費用による影響

(単位：億円)	'23.3期 通期累計 (実績)	'24.3期 通期累計 (計画)	詳細
売上高	2,963	2,280	• 卸売（トレーディング）減
販管費	108	—	• 海外投資案件先行投資費用（約40億）増 1)業容拡大による業務委託費、調査費用等の増 2)燃料事業拡大の為の費用増
営業利益	148	77	• 卸売（トレーディング）益減 • 海外投資案件先行投資費用 • 調達価格高騰による原価増
経常利益	152	75	• 卸売（トレーディング）益減 • 海外投資案件先行投資費用 • 調達価格高騰による原価増
純利益*	91	44	

*親会社株主に帰属する当期純利益

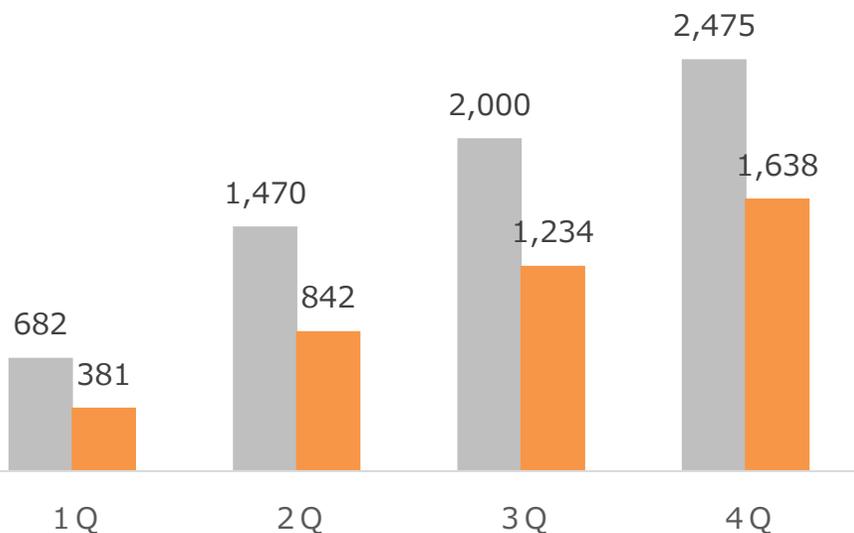
高圧

- 今期も値上げ対応を実施し、収益性を重視した販売戦略を継続
- 市場連動プラン等の拡販

販売電力量

【GWh】

■ FY2022実績
■ FY2023計画



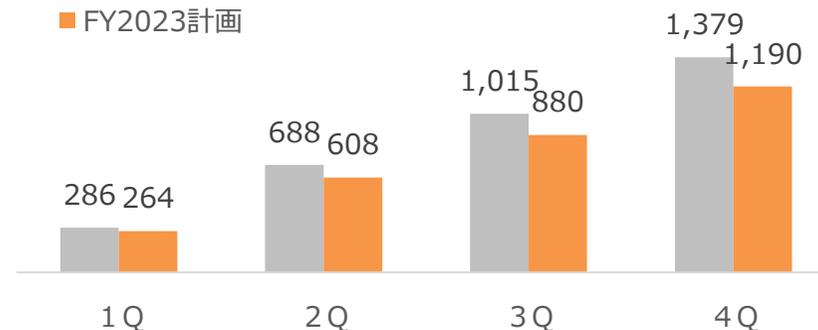
低圧

- 今期も引き続き収益性の高い需要家中心の営業展開を実施
- 新規顧客の獲得、高採算が見込めるエリアにおけるパートナー開拓を実施

販売電力量

【GWh】

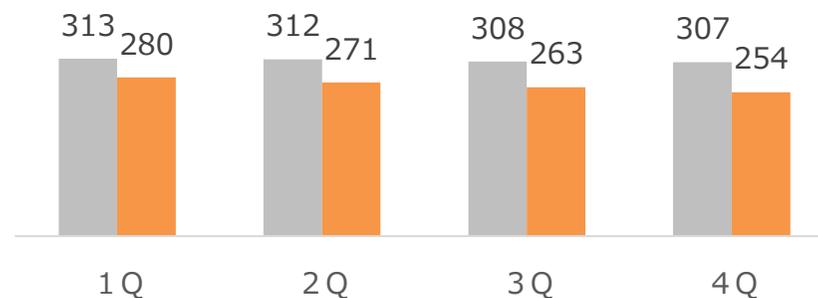
■ FY2022実績
■ FY2023計画



供給件数

【千件】

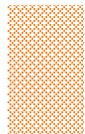
■ FY2022実績
■ FY2023計画



2024.3月以降の計画



- ・ ベトナムハウジャンバイオマス発電所、カンボジア水力発電所の運転開始
- ・ ベトナム等のバイオマス燃料の収益化



- ・ 小売（高圧・低圧）分野における収益性の確保
- ・ 卸売等のトレーディング

